

対チャド共和国 事業展開計画

2018年 4月 現在

<b>基本方針 (大目標)</b>	平和と安定に資する貧困削減支援											
<b>重点分野 1 (中目標)</b>	基礎的社会サービスへのアクセス及び質の向上並びに経済脆弱性の克服											
<b>開発課題 1-1 (小目標)</b>  基礎的社会サービスへのアクセス及び質の向上	<b>【現状と課題】</b> チャドは、国土の約3分の2がサハラ砂漠に覆われた内陸国であり、伝統的に綿花栽培及び畜産業中心の経済開発途上国である。2003年に石油生産を開始し、同国の輸出の約8割を占める基幹産業にまで成長したが、近年の国際的な原油価格の下落及び政情不安悪化の影響により、国民に対する貧困対策等に大きな改善は見られていない。			<b>【開発課題への対応方針】</b> 人間の安全保障の推進を目的として、食料安全保障の改善に向けた支援を行う。								
	協カプログラム名	協カプログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	備考
					2017年度以前	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度		
	食料安全保障の推進プログラム	農業・農村開発に係る研修や食糧援助等を通じて、食糧安全保障の確立に向けた支援を実施する。	食糧援助(WFP連携)  農業開発・農村開発の課題別研修  コメ振興プロジェクト(カメルーンでの実施案件)のアウトリーチプログラム	食糧援助  課題別研修他  技プロ							3.00	
<b>開発課題 1-2 (小目標)</b>  経済・社会開発支援	<b>【現状と課題】</b> 国連人間開発指数(2016年)は188か国・地域中186位。貧困人口、識字率、乳幼児死亡率、飲料水へのアクセス等の指標により社会開発の遅れが顕著な状況となっている。これらの課題について取り組むことが、「国家開発計画2017-21」で掲げられている。			<b>【開発課題への対応方針】</b> 非石油関連産業の強化、天然資源管理、気候変動対策等を通じて、同国の経済成長を後押しする。								
	協カプログラム名	協カプログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	備考
				2017年度以前	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度			
経済・社会開発プログラム	非石油産業に資する物品を調達するとともに、物品の販売によって積み立てた資金により、基礎的経済・社会サービス向上のための協力を実施する。	経済社会開発計画  自然環境保全分野の課題別研修	無償  課題別研修他							3.50		



重点分野2 (中目標)	チャド湖周辺及びサヘル地域の平和と安定											
開発課題2-1 (小目標) チャド湖周辺及びサヘル地域における平和と安定の促進	【現状と課題】 チャドは1960年の独立後、内乱や近隣国との紛争の影響を受け、長年にわたり不安定な情勢が続いたため、国家開発が停滞した。2010年にスーダンとの和平合意が成立したことにより、治安情勢の安定化の兆しを見せたが、2014年以降のチャド湖周辺地域における暴力的過激派組織やテロ組織の活動の活発化を受け、多くの難民・国内避難民等が発生しており、大規模な人道危機が生じている。					【開発課題への対応方針】 チャド湖周辺地域及びサヘル地域の情勢が不安定化する中、チャドを含む地域全体の脆弱性の克服は喫緊の課題である。近隣国からの難民受け入れによって負担が増えているホストコミュニティへの支援や治安対策能力強化に資する協力を検討していく。						
	協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	備考
	人道危機対処プログラム	国際機関とも連携の上、近隣国からの難民受け入れによって負担が増えているホストコミュニティへの支援や治安対策能力強化に資する協力を実施する。	チャドにおけるスーダン、中央アフリカ難民及び都市難民の保護	マルチ	_____							1.94百万USD UNHCR
			脆弱な女性及び子どもの緊急栄養支援	マルチ	_____							1.47百万USD WFP
			中央アフリカからのチャド帰還民に対する恒久的解決策支援	マルチ	_____							1.05百万USD IOM
			チャド湖地域の紛争の影響を受けた人々の人命救助支援提供	マルチ	_____							0.64百万USD UNICEF
			チャドにおける緊急対応準備(ERP)強化	マルチ	_____							0.15百万USD OCHA
			ロゴン・オリエンタル州、モワイアン・シャリ州、シラ州における脆弱な女性支援	マルチ	_____							0.85百万USD UNDP
			危機の影響を受けた人々への緊急ケア及び栄養不良予防	マルチ	_____							2.5百万USD WFP

【凡例】 「協準」(=全ての協力準備調査)、「詳細設計」(=詳細設計)、「技プロ」(=技術協力プロジェクト)、「開発計画」(=開発計画調査型技術協力)、「個別専門家」(=個別機材)、「個別研修」(=課題別研修及び青年研修)、「JOCV」(=青年海外協力隊)、「SV」(=シニア海外ボランティア)、「第三国専門家」(=第三国研修)、「現地国内研修」(=科学技術(=科学技術協力(技プロ型及び個別専門家型))、「草の根技協」(=草の根技術協力)、「〇〇省技協」(=外務省・JICA以外の省庁及び独立行政法人等が実施している技術協力)、「民間提案型技協」(=開発途上国の社会・経済開発のための民間技術普及促進事業)、「無償」(=以下に特記するサブ・スキームを除く全ての無償資金協力)、「水産無償」(=水産無償資金協力)、「食糧援助」(=食糧援助)、「一般文化」(=一般文化無償資金協力)、「草の根文化」(=草の根文化無償資金協力)、「緊急無償」(=緊急無償資金協力)、「日本NGO」(=日本NGO連携無償資金協力)、「草の根無償」(=草の根・人間の安全保障無償資金協力)、「有償」(=円借款、海外投融資)、「情報収集調査」(=基礎情報収集・確認調査)、「マルチ」(=国際機関等を通じた多国間協力スキーム)、「中小企業支援」(=中小企業海外展開支援事業「基礎調査」、「案件化調査」及び「普及・実証事業」、並びに中小企業連携促進基礎調査)、実線「\_\_\_\_\_」(=実施期間)、破線「- - - -」(=実施予定期間)  
※この凡例にない略語を使用する場合は凡例に当概略語を記載したうえで使用する。